

2020年1月27日
システムワークフロー検討作業部会

2019年度活動報告

1. 活動概要

第25回これからの学術情報システム構築検討委員会において承認された「活動計画」を基に、JUSTICEとの連携や国内外の事例調査等に当たったほか、以下に示す「班」を中心に活動を行った。

(ア) 課題解決及び検証を目的とするもの

- ① 中央システム整備（電子リソース対応）班（資料 3-1-2）
- ② 中央システム整備（メタデータ流通の高度化検討）班（資料 3-1-3）
- ③ 中央システム整備（統合的発見環境）班（資料 3-1-4）
- ④ 図書館システム整備モデル A 班※（資料 3-1-5）
- ⑤ 図書館システム整備モデル B 班※（資料 3-1-6）

※ A 班は部会員，B 班は公募に応じた JUSTICE 会員館のメンバーによる構成。

(イ) 運用・管理を目的とするもの

- ① ERDB 運用作業班（資料 3-1-7）
- ② CAT2020 運用移行支援作業班（資料 3-1-8）

2. 活動詳細

(ア) JUSTICE との連携

- ① JUSTICE から出版社に対して、提案書に盛り込むよう指示される「ライセンスメタデータ項目」について、中央システム及び図書館システムでの利用を前提とした提案を行った。
- ② これからの学術情報システム構築検討委員会と JUSTICE の連名での公募に応じた JUSTICE 会員館のメンバーによる「図書館システム整備モデル B 班」について、その活動内容の検討を行った。

(イ) 事例調査及び外部機関等との情報交換

- ① 国内
慶應義塾大学及び早稲田大学における Alma の共同導入事例について、部会員を早稲田大学に派遣し、事例調査ならびに情報交換を行った。【2019年11月21日(木)】
- ② 国外
海外における Alma をめぐる状況について、部会員をシンガポールで開催された

IGeLU (The International Group of Ex Libris Users) の年次総会に派遣し、事例調査にあたったほか、ベンダーである Ex Libris との情報交換を行った。【2019年8月27日(火)～29日(木)】

(ウ) ERDB-JP の運用及び CAT2020 の運用支援

- ① JAIRO Cloud の規程改訂により、JAIRO Cloud 利用申請時に ERDB-JP 利用申請を同時に行うことが可能となった。
- ② CAT2020 運用移行支援として各種イベント・講演会等に講師を派遣したほか、CAT2020 の詳細内容の検討を行った。

3. 作業部会等の開催

(ア) 作業部会

- 第1回 システムワークフロー検討作業部会 2019年8月1日(木)
第2回 システムワークフロー検討作業部会 2020年1月16日(木)

(イ) 主査・班長連絡会

- 第1回 主査・班長連絡会 2019年9月25日(水)
第2回 主査・班長連絡会 2019年11月28日(木)

以上